

「凡事徹底」の考えについて

～当たり前が当たり前でできる～

「教育」とは、社会に出て行く子ども達の「生きる力」を育てていくことであり、そのためには、「知育・徳育・体育」のバランスのとれた教育を行う必要があります。生活リズムの確立や規範意識・マナーの育成など基本的な生活習慣の確立こそが「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の土台です。

そのために私は、当たり前が当たり前でできる「凡事徹底」という言葉を私の在任中、本校のスローガンにしたいと考えております。「当たり前のこと」とは、教育学者の森信三先生のしつけの三原則「時間を守らせる、場を清めさせる、礼を正す」に相通じるものです。これまでも多くの先生方が耳にし目にした言葉ではないでしょうか。学校教育等のあらゆる場面で、この精神(考え方)を教職員一人一人・生徒・保護者・地域の方々とともに共有・実践して参りましょう。

1. 例えば、生徒たちの当たり前のこと
 - ① 1日1日の各教科の授業を大切にし、内容を「本理解」すること。
 - ② 部活動や学校行事等を全力で取り組み、人間性に磨きをかけること。
 - ③ 自分から率先して挨拶すること。
 - ④ 決まり事や約束を守るとともに家の手伝いもしっかりすること。
2. 例えば、我々教職員の当たり前のこと
 - ① 情熱や使命感を持ち、生徒の教育にあたること。
 - ② 愛情を持って、生徒たちを褒める・叱ること。
 - ③ 授業内容を生徒達に「本理解」させること。
 - ④ 常に綱紀粛正と服務規律の確保に努めること。
3. 例えば、保護者の当たり前のこと
 - ① 生徒の良いことは褒め、悪いことは叱ること。
 - ② 我が家の決まりやルールを決め、生徒とともに実行すること。
 - ③ 朝食で生活リズムを整えてあげること。
 - ④ 生徒の話に耳と心を傾け、最大の理解者であること。
4. 例えば、地域の方々の当たり前のこと
 - ① 生徒に良い手本を示すこと。
 - ② 地域の行事等に積極的に参加すること。
 - ③ 地域の方々も率先して挨拶をすること。
 - ⑤ 学校と協力して清掃活動等に参加すること